



◆韓国でゼネストに向けた10万人デモ！ 動労千葉や全学連も合流！

11月1日に東京・日比谷野音で共に労働者集会を打ち抜いた韓国・民主労総が14日、ゼネストに向けた大闘争をソウル中心部で叩きつけました！

ソウル市庁広場に10万人が結集し、大統領官邸前の光化門広場に向かってデモ！機動隊と激突しながら7時間にわたる大闘争を打ち抜きました。全学連や動労千葉も100名以上の訪韓団が合流し共に闘いました。

パククネは労働法制改悪と一体で、米日と共に朝鮮侵略戦争にのめり込もうとしています。民主労総は金属労組や4大自動車労組（現代・起亜・韓国GM・サンヨン）を中心に無期限ゼネストを宣言。「製造企業全体が止まる。歴史教科書国定化阻止、セウォル号真相究明を要求する民衆とともに、パククネ政権と大抗戦を行う」と訴えています。パククネ打倒で闘う民主労総ゼネストと連帯し、日本でも安倍打倒・戦争阻止のゼネストを巻き起こそう！



全学連

全日本学生自治会総連合（委員長・斎藤郁真）
03-3651-4861 mail_cn001@zengakuren.jp <http://www.zengakuren.jp>

11/13フランス銃撃・爆破事件の核心

◆帝国主義の侵略戦争が元凶だ

11月13日、フランス・パリで銃撃・爆破事件が起こり、少なくとも120人が死亡しました。米オバマはただちに「人類とその共有する普遍的な価値への攻撃だ」と述べ、仏オランドはイスラム国の仕業であると断定し、「フランスは過激派『イスラム国』にあらゆる手段をもって行動する」と声明を出しました。

しかしはっきりさせるべきは、オバマやオランドなどの有志連合こそイラク・シリアに空爆を行い、侵略戦争を拡大してきた張本人だという事です。フランスは9月27日、シリアに初の空爆を行いました。事件の起こった13日も、有志連合はシリアに27回の空爆を行いました。これに対する報復であることは明白です。一切の元凶は有志連合による中東への侵略戦争にあります。



11月1日の全国労働者総決起集会



一方で、「イスラム国」などの反人民的なあり方も断じて認めるべきではありません。イスラム国はイラク石油労組や教育労働者を弾圧しています。宗教や民族の対立を乗り越える労働者の国際連帯に敵対し、むしろそれを叩き潰そうとしているのがイスラム国です。

◆国際連帯とストライキこそ社会を変える

11・1労働者集会には韓国・民主労総やトルコ、ドイツなど全世界の労働者が結集し、「国際連帯とゼネラルストライキで戦争を阻止しよう」と宣言を発しました（下枠に発言）。国境を越えた国際的団結で、戦争をやろうとする自国の政府を打倒することが戦争を阻止する唯一の道です。バリストを打ち抜いた京大に続き、あらゆる大学で反戦ストライキを巻き起こし、戦争を阻止しましょう！

11・1労働者集会での世界からのアピール

●ドイツ機関士労組ベルリン都市鉄道支部長 クルトさん

資本家どもと彼らの政府は労働者の職場における労働組合としての権利、人間としての権利に対し、大がかりな攻撃をかけてきています。私たちは新たな世界戦争への準備が行われていることを見抜かなければなりません。今、私たちが戦争への明らかな策動に闘いを開始しなければ戦争を阻止することは後になればなるほど困難になるでしょう。

ドイツ機関士労組はこの1年間にわたって合計400時間にのぼるストライキを行い鉄道当局の攻撃と闘ってきました。若者たちの未来の基礎を築くために、ともに断固とした闘いをやっつけていかなければなりません。

闘わない者はすでに敗北している。なぜなら抵抗のないところで初めて資本家どもは彼らの犯罪的な政治を貫徹できるからです。闘う者はすでに勝利している。というのは一つひとつの闘いの経験を通じてその後の闘いをより豊富な、より広範な、より大衆的なものに強化することができるからです。国際連帯万歳、団結してがんばろう！

●トルコ国際労働者連帯協会・ジェミル・カライジュさん

われわれは何千*も離れたところからやって来ました。われわれの声をみなさんの声と重ねるために、みなさんとスクラムを組むために、そして労働者階級の国際的な団結を強化するために！

2、3週間前、トルコでの平和集会に野蛮な攻撃が加えられました。100人を超えるわれわれの兄弟姉妹が命を奪われ、数百人がけがを負いました。この虐殺は、AKP政府の攻撃的政策の結果、引き起こされたものです。彼らは権力の座に居座り、中東での帝国主義政策を続けるためにこのような事件を起こしたのです。

われわれは深い悲しみに沈み、また激怒している！ この虐殺を忘れないし、忘れさせてはいけない。われわれは組織し団結し彼らに対して立ち上がる。そのことでこの事件の責任者に罪を償わせる。

集まって声をひとつにし、心をひとつにし、こぶしをひとつにして資本家階級、資本主義体制に対して立ち上がりましょう。そして彼らにこう叫びましょう。「お前らはノーだ、お前らの腐った制度もノーだ、お前らの戦争もノーだ、お前らの経済危機もノーだ、原発も核兵器もノーだ」と。われわれに必要なのはわれわれ自身の力を信じ、次なる闘いのステージに前進することです。

“今こそ星野文昭さんを取り戻そう” 11・29全国集会”

11月29日(日) 13:00～ 永田町・星陵会館にて（集会後、銀座デモ）

主催：星野文昭さんを取り戻そう！ 全国再審連絡会議